

済生会だより

～まえばし～



理念
愛と希望

使命

済生 国民の生を救うこと、の心のもとに医療・福祉の充実と弱者救済事業を推進し、社会の発展に尽くします。

基本方針

- 一、私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、公平・安全な医療を提供します。
- 一、私たちは、地域の医療機関との連携を深め、中核病院として地域の皆様に必要とされる医療を提供します。
- 一、私たちは、医療人としての誇りと責任を持ち、医療の質の向上・教育・研修に取り組みます。
- 一、私たちは、互いに協力・信頼し、感謝する心でチーム医療に取り組みます。

群馬県済生会前橋病院



前橋市立東小学校 6年2組 飯塚 蓮さん

毎年、病院祭「ふれあいデー」で地元小学校3校を対象にした絵画コンテストを開催、展示させていただいております。今年のテーマは「あったらいいな、こんな病院」です。病院賞に輝いた絵をご紹介します。

患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- 個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- 病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- 自分の意思により治療を選択し決定する権利
- 医療に関し個人の情報を保護する権利
- 自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- 病状について正確な情報を提示して下さい。
- 納得できるまで医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- 病院内での迷惑行為はつづし下さい。迷惑行為があった場合は退院していただく事があります。
- 病院の規則を守って下さい。



2025年問題

管理局長
岡野 弘文

「〇〇年問題」という言葉を最近よく耳にします。記憶によれば、この始まりは、コンピューターの時刻処理に支障が出ることが心配された「2000年問題」が発端であったように思います。その後、いろいろな〇〇年問題が取りざたされました。団塊世代の大量退職する2007年問題、テレビ放送がデジタルとなりアナログ波の停止による混乱が心配された2011年問題、そして今年は、国民全員に番号が付与されるマイナンバー制導入の2015年問題など。過去の事例は、幸いな事に無事クリアし、今年の問題も、事前の準備よろしく実施されるようです。

現在、病院や介護福祉施設などにとって最大の問題は、2025年問題です。これは団塊の世代(1947年～1949年生まれ)の全員が後期高齢者となり、社会保障費の急増や介護負担の増加に対処しなければならないという問題です。厚労省の推計では2025年度の医療費は2012年度の1.5倍にあたる54兆円に上ると見込まれています。しかし、生産年齢人口が減少する中で財源の確保には限度があるため、トータルとしての医療費の抑制は不可避であるといわれています。病院にとって診療報酬改定は死活問題といって良いほど大きな影響があります。

もうひとつ医療現場にとって大きな課題があります。それは高齢者が多くなった社会の医療需要に供給がマッチできるかという心配です。国では都道府県に対して2025年度の医療需要と病床を高度急性期、急性期、回復

期、慢性期の4機能に分類し、都道府県の2次医療圏(構想区域)ごとにその確保のためのビジョンの策定を求めています。現状の病床機能では、高度急性期や急性期病床が過大である一方で回復期病床が不足傾向になると予測されているようです。ここで考えてみたいのは、専門医療は限られた医療圏を超えて提供されているということです。国が定めたビジョン策定のガイドラインでは、診療密度が高い高度急性期は、構想区域を超えてもよいが、急性期以下は、構想区域内で、完結することが望ましいとしています。当院は現在、高度急性期と急性期を担っており、今後もその機能の維持向上が期待されているものと考えています。当院の患者さんの多くは前橋市民の方ですが、それ以外にも県内各地域、そして県外からも多くの患者さんが来院されています。

群馬県は地理的、歴史的条件などから都市がバランスよく機能分担して配置されています。利根川支流の豊かな山間地域とその中心地である人口5万人規模(合併前)の市、そしてそれらの地域を束ねるように前橋、高崎などの人口30万人規模の市が、それぞれ機能を分担して発展して来ましたが、また、県内を十字に繋ぐ高速交通網の整備が完了しており、さらに県が進める7つの交通軸が整備されると前橋、高崎と県内各地域がほぼ1時間以内で結ばれるようになります。このような県の未来にふさわしい地理的特徴を生かした機能的な医療分担(慢性期や回復期は地域で、高度な専門医療は広域で)が医療ビジョンには期待されると思います。

当院としても、群馬県の医療の重要な一翼を荷っているという自覚のもと、2025年に向けて今から準備を着実に進めてまいります。





周知されてきた 医療・介護に「栄養」の重要性

栄養科 科長 小野澤 しのぶ

栄養科は管理栄養士7名、栄養士1名、事務員1名が配置されています。主な業務は栄養管理と給食管理です。食事から摂れるエネルギー量や栄養バランスの充足を目標にして栄養管理を行っています。

短歌にも食べ物に関係したさまざまな歌が詠まれ、慣れ親しまれています。

秋である やさしさだけがほしくなり
ロシア紅茶にジャムを沈める
小高 賢「耳の伝説」

朽ち色のうづらの卵十(と)を茹でて
木の実のやうにむけばましろし
木畑 紀子「女時計」

二つの歌は食べ物にはそれにまつわる記憶があって、その記憶を呼び起こしながら懐かしさを味わっている作品です。食べるということは食べる人への思いや記憶とともにあるもので、生活や自然とじかに向き合うものですよ、ということを静かに暗示しているように思います。人の営みの根源になる食だからこそ、給食管理では、「食べること」が治療の一助になることを科内の信条にして、食事からも四



行事食と患者さんから寄せられる食事の感想

季を感じることができる献立作成や調理法を工夫しています。

また、高齢者の増加とともに、低栄養、骨折、サルコペニア(老化による筋肉量の減少)やフレイルティ(加齢に伴う虚弱)、認知症、肺炎などの症状や疾患がクローズアップされてきています。咀嚼(噛む力)や嚥下(飲み込む力)が低下していることが多い高齢者では、食材がかたいことが原因となって食事を摂れなくなり、栄養状態の低下や誤嚥性肺炎に繋がることがあります。そのため当院でも食材をきざんだり、とろみをつけたり、ペースト状にして提供しています。また、「肉や魚が軟らかいと、もっと食べられるようになる」との意見も少なくなく、肉や魚をさらに軟らかくして提供することで、栄養状態の維持や改善のみならず、食べる楽しみや満足感などにも繋がりととても大切であると考えています。

調理室では肉や魚のたんぱく質を分解する酵素を使用して、調理の知識と技術(真空調理や凍結含浸法)を駆使し、安全でおいしい嚥下調整食の提供を目指しています。



**医師からの栄養指導依頼
以外にも食事相談を行って
おります。**

食品に関する身近なご質問や食事が摂れないなど栄養に関するご相談、またテレビや雑誌、メディアなどで紹介されている栄養・健康情報についてお答えしております。

食事に関する些細なご質問もお受けしておりますので、お気軽に各診療科の窓口にて、お声かけいただければと思います。栄養士がお伺いし、対応させていただきます。ぜひ、ご利用ください。





人工透析療法の現状について

腎臓内科医長(兼)透析センター長
三 島 敬一郎

体にとって不要な体液や老廃物は血液を介して腎臓で濾過（ろか）され、尿として排泄されます。高度な腎機能低下の状態に陥ると余分な体液や老廃物が体内に貯留し、息切れやだるさをはじめとした合併症を引き起こしやすくなります。残念ながら長い年月をかけて悪くなっていった腎臓は元の状態に戻ることはなく、前述のような合併症を回避するために人工透析療法（以下、透析）というものがあります。

透析には主に血液透析と腹膜透析というものがありますが、日本国内の全透析患者さんの約97%の方が血液透析を受けています。血液透析は、機能しなくなってしまった腎臓の代わりに透析機器が血液を浄化してくれる治療法で、一般的には週3回、1回につき約4時間行います。本来、腎臓は24時間、年中無休で働き続けているものであり、それを週3回、しかも1回4時間で処理しようとするのですから、多少なりとも体への負担を伴います。しかも透析はあくまで腎臓の代わりを担うだけで、腎臓そのものを治す治療法ではないため、腎臓移植を行わない限り、一生続けていかなくてはなりません。

現在、日本国内では約32万人の透析患者さんがおり、これは前橋市の人口（約33万人）と同じくらいであり、また年々増加しています。群馬県内の透析患者さんはおよそ5,500人で、これは県人口の約0.28%（360人に1人）にあたります。

我々、透析に関わる医師、看護師、臨床工学技士らは、透析に伴う患者さんへの身体的、心理的負担を可能な限り軽減できるよう、日々サポートに努めています。現在当院の透析センターでは、月・水・金曜日と火・木・土曜日、それぞれの午前と午後の計4クールで血液透析管理を行っています。患者さんには自身で普段の摂取水分や食生活などの管理を適切に行っていただく必要があり、それがあって初めて我々のサポートが十分に活かされるものだと思っております。



臨床工学技士による入念なチェック



安全に行えるように機械で自動的に監視されています



ダイアライザー（矢印）の中で血液浄化が行われています



ご家族のための心肺蘇生講習会

循環器内科

医長 土屋 寛子

2012年2月から数名のスタッフで「ご家族のための心肺蘇生講習会」を始め、3年半が経過しました。これまで17回の講習会を開催し、170名もの方に受講して頂きました。当初は循環器内科にかかっている患者さんのご家族を対象に始めましたが、いまでは窓口を広げ、より多くの方に受講していただいています。

講習会は、心肺蘇生法の中でも胸骨圧迫と自動体外除細動器（AED）の使用方法に重点をあてた内容になっています。DVDを見ながら、2～3人の小グループに分かれて実技の練習を行います。教材にはNPO法人大阪ライフサポート“pushプロジェクト”のDVDを使用しています。これはお子さんでもわかりやすく作られており、ご家族そろって参加できる内容です。当院の講習会の特色としては、各小グループにスタッフを1名配置し、より充実した実習ができるよう配慮しています。またリアリティーを出すため、院内の講習会で使用しているマネキン・AEDを使っの練習も行っています。さらに数社のAEDをご用意し、いろいろな機種があることを実際に見て頂いています。我々がなぜ、このような活動を続けているのか？日本では年間約6万人以上の方が心臓突然死で命をおとされています。心停止に至った際、何もなされなければ救命率は1分毎に10%ずつ低下していきます。しかしその場で蘇生処置が施されれば、3～4%に抑えることが出来ると言われています。身近にいる人がより速く処置を行うことが、その人を助ける最大の手段なのです。

3年を振り返ってみますと、講習会を受けた後、実際に夫の蘇生をなさった方がいらっしゃいました。講習を受けていたため、冷静にそして確実に対応し愛する人の命は助かりました。その受講生は「より多くの方に受講して欲しい」とおっしゃっていました。このようなお話を伺い、さらに蘇生の輪を広げていきたいと、強く思いました。

「いざという時」はいつやってくるかわかりません。家族を、友人を、愛する人を救えるすべを身につけませんか？皆様のお越しをお待ちしております。

【教材】大阪ライフサポート
PushプロジェクトDVD

※受講者2～3名に対し、インストラクター1名が配置

※リアリティーを出すためにレシアン・AEDトレーナーを使用したシミュレーション体験も実施



講習会風景



新任副看護部長として

副看護部長 外丸 富美子

4月より副看護部長として着任し5か月が過ぎました。この間に、看護学生向けの就職ガイダンス、病院説明会、インターンシップ研修、高校生対象のふれあい看護体験などを開催し、済生会病院で働いてみたいという嬉しい感想をたくさん頂きました。当院の職場風土や、看護師の日頃の対応に好感を持っていただけた評価に心温まる思いとともに、副部長として「済生の心」を継続していかなくてはいけない責任を感じ、日々業務に向き合っています。

着任前、自分自身が職場が変わる事など、夢にも思っていませんでした。求められる責務を果たせるだろうか、さまざまな葛藤をしました。同じことを長く続けることで良い結果を得ることもありますが、時には転換することで良い方向に継続されるという事もあります。「人には成長の転機

というものがある。すべては自身の一念の変革から。それは“いつか”ではなく“いま”である。人生に起きたことは必ず意味がある。」という言葉に出会ったことを思い出し、「今が自分自身の転機なのだ。自分自身の成長と看護師としての経験を済生会病院で活かしていこう。」と決意、済生会病院で第2の看護師人生が始まりました。

看護学生の頃、看護師の『看』という字は手と目とが合わさってできた漢字で、看護師の手は多くの人々の尊い生命を守る武器であるとの話を聞き、看護の基本ととらえました。患者さんの不安な思いを看護師の手を使い和らげること、専門の知識で患者さんを看っていくこと、この気持ちは常に持ち続けていきたいと思っています。

今年の24時間テレビでも「つなぐ」をテーマにしておりましたが、看護部に受け継がれてきた良いものを継続し、時には変換しながら、さらに先へ「つなぐ」大切な役割を果たさなければなりません。皆様の力を借りて済生会病院の後継を果たしていけるよう日々努力していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



ふれあい看護体験



就職ガイダンス

EVENT GUIDE

ご家族のための 心肺蘇生講習会

日時 11月21日(土) 10:00~11:30

※AEDと胸骨圧迫の実技が中心となります

会場 当院 会議室

定員 16名

(定員に達し次第、受付終了とさせていただきます)

申し込み 地域連携課まで

☎027-252-1751 (直通)

まちなかキャンパス

日時 11月25日(水) 13:00~14:00

会場 前橋市中央公民館5階 501・502学習室

※会場の都合等ございますので、事前にご予約をお願いいたします。

講師 内分泌・糖尿病内科代表部長 荻原 貴之

演題 『糖尿病ってどんな病気?』

糖尿病には様々な合併症があり、その抑止にはそれぞれの人に合った目標を設定し、質の良い血糖コントロールが重要です。今回は糖尿病の基本的な事柄ならびに最近の薬物療法について解説したいと考えています。



ザスパクサツ群馬の選手がきました！

9月9日(水)、ザスパクサツ群馬の選手が慰問に来てくれました！ 背番号1：鈴木選手(GK)、背番号6：小林選手(MF)、背番号15：吉濱選手(MF)、背番号23：富居選手(GK)の4選手です。昨年8月に続いて、2度目の訪問となり、今回はあずま荘となでしこ保育園で交流してくれました。

あずま荘では、リフティング披露、みんなでボール遊び、握手会を行い、みなさん選手との交流に大盛り上がり！「頑張れー」と選手にエールを送る方や、感動のあまり涙を流す方もいらっしゃいました。

次はなでしこ保育園。園児は体の大きな選手にビックリ。緊張して泣いてしまう子もいましたが、ボール遊びを始めると一変。すぐに大運動会が始まりました。追いかけてこに肩車など、子供たちは疲れ知らずで遊び続け、選手の方が疲れてしまうほどでした。

連日の雨の中、そんなことも忘れてしまうほどの盛り上がりで、とても楽しいひとときとなりました。



あずま荘にて



なでしこ保育園にて

TOPICS

あずま荘納涼祭を開催しました



介護福祉士

主任 田村 寿夫

8月5日(水)、あずま荘納涼祭を開催いたしました。当日は日中38度を越える猛暑日となり、熱中症への配慮から、予定時間を30分繰り下げての開始となりました。福田荘長の挨拶から納涼祭が始まると、利用者のみなさんが担ぐ御神輿と提灯行列が元気な掛け声とともに入場してきました。また、地域の皆様による様々な出し物が披露されました。華やかな「フラダンス」「踊り」、力強い「太鼓演奏」、子ども達による「合唱」、伝統あ

る「太々神楽」等、会場を大変盛り上げていただきました。出店には、焼きそばやかき氷、フルーツ、フライドポテト等を用意し、子どもさんにはメダカが配られ、ご来場の皆様には夏の楽しい一時をお過ごしいただいたと思います。

ご来賓、ご利用者、ご家族をはじめ、多くの皆様のご協力をいただきまして、盛大に納涼祭を開催し、事故等もなく無事に終えることができました。皆様のご協力に深く感謝を申し上げます。



「将来の夢」応援します！

親子で参加！夏休み自由研究

病院探検 キッズ探検隊

8月1日(土)、小学生の親子を対象に開催しました。実際の医療現場を見て、聞いて、感じて、「ぜひ医療従事者になって欲しい。そして当院の職員として一緒に働こう！」という願いを込めて企画、今年で3回目となりました。

県内外から115組の応募があり、抽選で33組の親子が参加しました。白衣を着た後、各職種の「おしごと解説」が書かれた「カルテ」を携え、探検に出発！医師、看護師、コメディカルの「おしごと体験」をしました。

医師のお仕事



この子達が患者さんです

看護師のお仕事



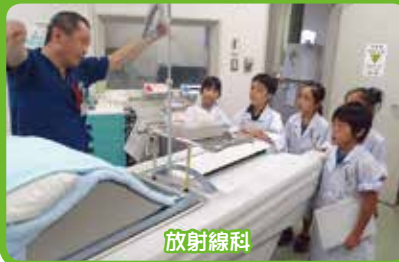
コメディカルのお仕事



検査科



薬剤部



放射線科



臨床工学科



リハビリテーション科

ふれあいデー2015

9月12日(土)、ふれあいデー2015を開催しました。当日は秋晴れとなり689名の方が来場され大盛況となりました。多くの地域の方々にご来場いただき、交流する機会も多く得られ実りある行事となりました。また、今年から新たに農産物販売のコーナーを設け、来場者の方々にご購入をいただき誠にありがとうございました。この売上金は、例年通り東地区社会福祉協議会に全額寄付し、地域の社会福祉に有意義にご活用いただきたいと思います。今後も地域の皆様とのふれあいを大切に、「親しみやすい身近な病院」と感じていただけたら光栄です。



外来医師診療表

◆休診日：第2・4・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

◆内科総合外来の担当医師は変更することがあります。

【午前】受付：午前8時30分～午前11時（診察開始：午前9時）・内科総合外来以外は予約制 【午後】完全予約制

平成27年7月1日現在

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土(第1・3)
内科総合	9:00 10:30	福 田	荻 原	池 田	長 坂	星	交替制
外来(初診)	10:30 12:00	吉 田	月 田	小 林	三 島		
血液内科	午前	星 野			高 田	初 見	
	午後		佐 倉・高 田 初 見・星 野 小 林	佐 倉			
腎臓内科	午前	月 田	中 沢	三 島			
	午後	木 村			[CAPD外来]木村(第4)	三 島・木 下	
内分泌・	午前					荻 原	荻 原
糖尿病内科	午後	荻 原		青 木	荻 原		
呼吸器内科	午前				久田(第3休診)		岡 山
	午後			牧 元・岩 崎		岡 山(第2)	
消化器内科	午前		樋 口・田 原	樋口・吉永・吉田	蜂 巣	田 中・竹 内	
	午後			橋爪(第1・3・5)	高 木(第2・4) 田 原・竹 内		
循環器内科	午前	池 田 舘 野	中 野・福 田 戸 島	中 野・福 田 戸 島	中 野・土 屋 佐 鳥	池 田・土 屋 [睡眠障害外来]福田(第5休診)	福 田 池 田
	午後	【禁煙外来】 池 田		【ペースメーカー外来】池田 【心不全・動脈硬化外来】舘野	【弁膜症・先天性 心疾患外来】舘野		
外 科	午前	藍 原・須 賀 内 田	細 内・和 田 【乳腺外来】鈴木	西 田・須 賀 【ヘルニア外来】藍原	細 内・萩 原 【食道外来】鈴木	細 内・和 田 萩 原	交替制
	午後	後 藤 長谷川	中 島 野 崎	中 島 永 井	長谷川 野 崎	後 藤 永 井	第1:中島・長谷川 第3:後藤・永井
リハビリテーション科	午前				【関節】白 倉		
心臓血管外科	午後	石 山		石 山			
小児科	午前					【循環器】鈴木(尊)(第1・3・5)	
	午後					【循環器】鈴木(尊)	
眼 科	午前	福 地・中 村	中 村	中 村	中 村	相 澤	群 大
泌尿器科	午前	鈴 木 (和)					

交通のご案内



- * 新前橋駅よりタクシーで10分
- * 前橋駅よりバスで20分/高崎駅よりバスで40分
- * 前橋市コミュニティマイバス(100円)もご利用いただけます。

上信バス時刻表案内
(済生会前橋病院発着予定時刻表)
平成26年10月1日現在

行先	前橋駅行	中央前橋駅行	高崎駅行
7	45	07	01 44
8		35	18 52
9	48	19	57
10	50	22	36
11		42	02 40
12			16
13	03	48	06
14			03
15	12	44	12
16	32		10
17	05		08 40
18		01	34 18
19	09 59		25 45
20			06

●印:土日祝日は運休 ●印:土日祝日のみ運行

お問い合わせ

代表番号 ☎027-252-6011

患者さんへ ●前橋市成人健康診査のお問い合わせ
医事課窓口 ☎027-252-6011内線1101

●人間ドックのご予約
検診センター ☎027-252-1959(直通)

医療機関様 ●診察・検査(CT・MRI・内視鏡(上部・下部))・入院・
セカンドオピニオン・緩和ケアのご紹介
地域連携課 ☎027-252-1751(直通)

介護関連 ●入所・通所に関するご相談
介護老人保健施設あずま荘 ☎027-254-0108
●前橋市高齢者福祉サービスのご相談
地域包括支援センターあずま荘
●介護保険サービスに関するご相談
居宅介護支援事業所あずま荘 ☎027-255-1511